

平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

《 事業概要 》

平成27年度は、当研究所の中期ビジョンに基づき、重点4分野である「交通安全」、「交通円滑化」、「公共交通」、「環境・総合」を中心に取り組みました。持続的経営のさらなる推進のため、受託業務の確保に努め、当初計画時の14件の研究事業から大幅に増加し、20件の研究事業を実施することができました。なかでも近年最重要視している「交通安全」分野において、車内助言型の情報提供による社会実験、「交通円滑化」分野において、ビッグデータ時代の到来を踏まえ、豊田市で活用が考えられるデータの特性を用いた研究を行うなど先駆的な取組を実施しました。

自主研究では、助言型ISAの長期効果の計測及びインセンティブプログラムの効果検証、交通データの情報収集と活用方策に関する研究、高齢者のおでかけによるQOLの変化と中山間地域のまちづくり方策に関する研究、シームレスな移動を支援する極小パーソナルモビリティに関する研究の4件を実施しました。

受託研究では、スマート交差点実証実験評価業務委託、豊田市歩道整備計画策定支援、立ち乗り型パーソナルモビリティ実証実験業務委託、豊田市新公共交通基本計画策定業務委託、交通需要マネジメント関連施策業務委託など合計16件を実施しました。

報告会・セミナー等では、毎年度開催している研究成果報告会や、毎月開催している「豊田まちと交通勉強会（まちべん）」で市民との活発な意見交換を行いました。

研究成果の論文発表は、学術誌・学会等で34件行いました。また、これらの論文発表以外に、国内外において各種講演を24回行いました。

資料発行事業では、当研究所が実施した事業内容を市民に対して幅広く知ってもらうために「研究成果報告会開催記録」、機関紙「まちと交通」（51～54号）、「豊田都市交通研究所年報 平成27年度版」等を発行しました。

また、とよた交通安全・防災フェスタや『出張まちべん』などで、市内全小学校4年生と保護者を対象とした『ヒヤリハット調査』（平成26年度自主研究）の成果を、市民へ情報発信するとともに、調査・研究成果や活動内容を適時ホームページ上でも紹介するなど、広く社会に情報発信し、理解促進を図りました。

《 公益目的事業 》

1 調査研究（自主事業4件、受託事業16件）

(1)交通安全分野（自主事業1件、受託事業6件）

- ① 助言型 I S A の長期効果の計測およびインセンティブプログラムの効果検証（自主事業）
 - ・スマートフォン助言型 I S A によりドライバーの速度遵守意識醸成に向けたインセンティブプログラムの有効性を検証しながら、助言型 I S A の導入推進に向けた基礎的知見を得ることが目的です。
 - ・平成26年度からの継続テーマで、豊橋技術科学大学・中京大学との共同研究です。
- ② 豊田市交通事故データ調査委託（受託事業 豊田市）
 - ・平成26年中に豊田市内で発生した交通死傷事故データを整理して、過去のデータとの照合・結合を行いました。その上で、豊田市の交通事故の実態を把握し、今後の交通安全対策の展開に活用するための基礎資料（事故マップ）を作成しました。
- ③ 「平成27年とよたの交通事故」作成委託（受託事業 豊田市交通安全市民会議）
 - ・平成27年に発生した交通死傷事故の速報データ及び平成26年までに発生した交通死傷事故データを解析して、市民啓発用冊子「とよたの交通事故」を作成しました。
- ④ 豊田市歩道整備計画策定支援（受託事業 豊田市）
 - ・豊田市が策定する「歩道整備計画」において、過年度の自主研究で整理したヒヤリハット情報を活用して、整備対象候補路線における改良事業の優先順位付けのための資料を作成しました。
- ⑤ 交通事故発生状況調査分析（受託事業 豊田市）
 - ・交通事故対策箇所における平成26年の交通事故発生状況の整理を行い、対策の効果検証などを行うための基礎資料を作成しました。
- ⑥ ゾーン30内車速調査業務委託（受託事業 刈谷市）
 - ・平成26年度の実験を踏まえて本格設置されたD S D S の導入効果を計測し評価することが目的です。また、追加的に、近辺に設置された狭さくの効果についても調査を行いました。
- ⑦ スマート交差点実証実験評価業務委託（受託事業 ㈱デンソー）
 - ・(株)デンソーがメーカーと開発した発光道路標示システムの公道実証実験を刈谷市で実施することに併せて、その効果測定と実験運営支援を行います。
 - ・平成27～28年度の2か年度の事業で、平成27年度には中間報告を行いました。

(2)交通円滑化分野（自主事業1件、受託事業4件）

- ① 交通データの情報収集と活用方策に関する研究（自主事業）
 - ・各種プローブデータ（Tプローブ、インターナビ、デジタコなど）を情報収集し、整理したうえで、豊田市で活用可能なデータを用いた渋滞状況の可視化を試み、貨物車プローブの活用策を検討しました。
- ② 交通需要マネジメント関連施策業務委託（受託事業 豊田市）
 - ・継続して行っている事業で、平成27年度では、①会員事業所活動、②豊田エコ交通月間、③一般市民啓発活動の3つの柱で普及活動を展開しました。

- ・平成27年度の新しい試みとして、一般市民啓発活動は、小学生を対象としたエコ交通出前教室を3校で6回開催し、学校側のご協力もあって、小学生から大きな反響がありました。

- ③ 刈谷市交通渋滞対策検討補助作業委託 (受託事業 (一社) 中部経済連合会)
- ・平成26年度の受託事業での結果を受けて、中部経済連合会が社会に向けた提言書を発表されました。それを受けて、今後、刈谷市で大規模な交通渋滞解消・緩和のための社会実験を実施する方向性を打出されました。
 - ・平成27年度では、その社会実験メニューを検討する基礎資料として通勤経路を把握し、可視化すると同時に、実験メニューの可能性検証に関する補助作業を行いました。
- ④ 路面公共交通システム導入検討業務 (受託事業 名古屋市)
- ・名古屋市の「なごや交通まちづくりプラン (2014.9)」に位置づけられた路面公共交通システムの導入可能性を判断するための種々の検討を行う業務を中央復建コンサルタンツ(株)とのJVで受託しました。
 - ・当研究所は、潜在需要を予測するための調査項目の設計や交通需要予測モデルの検討・推定を行いました。
- ⑤ とよたエコモビアドバイザー活動促進事業支援 (受託事業 (一社) 環境創造研究センター)
- ・環境省の補助を受けて、(一社) 環境創造研究センターが事務局となり豊田市において低炭素交通行動 (エコモビ) を促進するためのアドバイザー養成と体制を構築して実施する業務を支援することが目的です。
 - ・当研究所は、技術資料 (CO2削減効果等) を提供し、アドバイザー講習会の講師を派遣 (3回) するとともに、効果分析等を担当しました。

(3) 公共交通分野 (自主事業1件、受託事業3件)

- ① 高齢者のおでかけによるQOLの変化と中山間地域のまちづくり方策に関する研究 (自主事業)
- ・中山間地域を対象に、高齢者の外出状況や社会活動への参加状況と生活の質の関連について検討し、生活の質を高めるための移動手段の提供やまちづくり方策の方向性を探ることが目的です。
 - ・豊田市石野地区と愛知県北設楽郡を対象としたヒアリング・アンケート調査を実施して、おでかけによるQOLの変化を確認し、公共交通をはじめとするおでかけの支援策のあり方を考察しました。
- ② 豊田市新公共交通基本計画策定業務委託 (受託事業 豊田市)
- ・平成26年度に引き続き、新たな公共交通基本計画を策定し、新たな評価システムを検討することを目的とした業務です。
 - ・平成27年度末において、豊田市の新しい公共交通基本計画の公表および新しい公共交通評価の仕組みの提案に結び付けました。
- ③ さんさんバス路線利用状況調査業務委託 (受託事業 みよし市)
- ・さんさんバスのOD調査を実施して、利用特性や実態を把握した上、今後のあり方について提案しました。

④ タクシーの流動分析に基づく地域公共交通ネットワーク形成に関する調査

(受託事業 中部運輸局)

- ・東三河地域を対象に、日報データによるタクシーの利用実態を解析し、市町村が作成する地域公共交通網形成計画や、タクシー協議会が作成する地域計画における指標や個別事業の記述に関する検討を行いました。

(4)環境分野 (自主事業0件、受託事業1件)

① スマートムーブ実践推進による二酸化炭素削減効果検討業務

(受託事業 (公財)ひょうご環境創造協会)

- ・兵庫県のNPO団体、市民団体、事業者、行政等が連携し、「エコドライブの推進」と「環境に配慮した移動への転換の推進」を通して、CO₂削減を推進する「スマートムーブ実践推進による二酸化炭素排出削減事業」の運営支援、事業評価を行いました。

(5)総合・その他分野 (自主事業1件、受託事業2件)

① シームレスな移動を支援する極小パーソナルモビリティに関する研究 (自主事業)

- ・極小パーソナルモビリティ (PM) と公共交通のシームレスな連携によって、若者から高齢者まで幅広い世代をエコモビリティへ誘導する交通システムを検討することが目的です。
- ・コモビ等用いた試乗会を行い、利用意向等の調査を行いました。また、交通管理者やバス会社へのヒアリングを実施して、公道走行やシームレス利用時の課題等を整理しました。

② 立ち乗り型パーソナルモビリティ実証実験業務委託 (受託事業 豊田市)

- ・平成26年度に続いて、構造改革特区で、「立ち乗り型パーソナルモビリティ」の移動支援の有効性・導入可能性などについて、分析、検証等を行うことが目的です。
- ・平成27年度では、通勤利用と観光利用のそれぞれについて、豊田市が実施した実験のデータ等を基に分析・評価を行いました。

③ Ha:morIDE活用方策実証実験 (受託事業 トヨタ自動車(株))

- ・豊田市内で運用されているHa:morIDEについて、社会における役割、期待されている利用等を調査して、活用方策を検討しました。
- ・その上で、2種類の社会実験を行い、このシェアリングシステムの今後の可能性と課題を整理しました。

上記の自主研究事業、受託研究事業のほか、平成27年度では、国の科学研究費助成事業に採択された研究を3テーマ (当研究所の研究者が研究代表者になっているのは1テーマ:「高齢者のエイジングと安全な自動車運転の新しい関係に関する研究」、当研究所の研究者が研究分担者になっているのは2テーマ:「中国の新型城鎮化政策による農民工の都市住民化動向と低炭素まちづくりへの影響の調査」と「PT調査における生成原単位減少の原因に関する基礎的調査研究」) のそれぞれについて、関連する研究活動を行いました。

また、公益財団法人大林財団の研究助成事業に採択された「心理的側面からみた車いす利用者の乗合バス利用時におけるバリア解消に向けた研究」についても、研究代表者と分担者として実施しました。

2 報告会・セミナー

(1) 研究成果報告会（主催）

日 時：平成27年7月2日（木）

場 所：豊田産業文化センター 小ホール

内 容：特別講演 「豊田市の交通まちづくり」

西 和也（豊田市 都市整備部 交通政策課 課長）

研究概要 安藤良輔（研究部長）

成果報告 樋口恵一・福本雅之・山崎基浩

コメンテーター 河野安宣（（特非）ITSプラットフォーム21理事長）

野田宏治（豊田工業高等専門学校教授）

藤田素弘（名古屋工業大学大学院教授）

参加者：114名（聴講者）

(2) 豊田まちと交通勉強会（まちべん）

回 数：11回

場 所：豊田都市交通研究所・豊田市交通安全学習センター

内 容：外部からの情報提供 花田潤治（豊田市建設部建設企画課）

野下浩平（NPO法人 豊田ハンディキャブの会）

増岡義弘（NPO法人 ひと育て・モノづくり・まちづくり達人ネットワーク）

成果発表

当研究所研究員8人

参加者：延べ300名

(3) 豊田まちと交通研究会（まちけん）

回 数：8回（うち1回は見学会）

場 所：豊田都市交通研究所、長野県飯田市

内 容：豊田市内における住民参加型交通安全対策の支援（竹中自治区、山之手自治区）

長野県飯田市におけるラウンドアバウト整備および住民参加型公共交通運営に関する見学会（参加者 7名）

メンバー：12名

3 論文発表、著作、講演等

	国際論文 (査読付き)	国際論文 (概要査読)	国内論文 (査読付き)	国内論文 (査読なし)	著作・資料 寄稿	講演
(1)交通安全	7編		5編	8編		6回
(2)交通円滑化				1編		
(3)公共交通	1編			2編	3冊	5回
(4)環境・総合	3編	1編	1編	6編		13回
合 計	11編	1編	6編	17編	3冊	24回

4 資料発行

(1) 機関紙「まちと交通」

- ① 51号（平成27年 5月）特集：長期間の公道実験による助言型ISA（高度速度制御）の効果検証
- ② 52号（平成27年 8月）特集：豊田市でPHVを導入するメリットに関する実証的研究
- ③ 53号（平成27年11月）特集：高齢者の活動と移動手段に関する分析
- ④ 54号（平成28年 2月）特集：豊田エコ交通普及活動

(2) 「豊田都市交通研究所年報 平成27年度版（平成26年度実績）」（平成27年6月）

(3) 「平成27年度 研究成果報告会開催記録」（平成27年8月）

5 研究企画委員会

回	年月日	主 な 議 題
1	H27.5.15	<ul style="list-style-type: none"> 1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成27年度研究企画委員会開催計画（案）について 3 平成27年度重点分野研究計画について（公共交通） 4 平成27年度その他分野研究計画について 5 平成27年度研究成果報告会の概要
2	H27.8.27	<ul style="list-style-type: none"> 1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成27年度重点分野研究中間報告について（交通安全） 3 平成27年度その他分野研究中間報告について 4 平成27年度研究成果報告会の開催報告
3	H27.10.13	<ul style="list-style-type: none"> 1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成27年度重点分野研究中間報告について（交通円滑化） 3 平成27年度その他分野研究中間報告について 4 平成28年度成果報告会の開催について
4	H27.12.18	<ul style="list-style-type: none"> 1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成28年度研究企画提案プロセスについて 3 平成28年度研究企画（案）について
5	H28.2.23	<ul style="list-style-type: none"> 1 前回委員会議事録（案）確認 2 平成27年度重点分野研究中間報告について（環境・総合） 3 平成27年度その他分野研究中間報告について 4 平成28年度研究企画（案）評価結果について

《 法人運営 》

1 理事会

回	年月日	内 容
19	H27.5.13	議案第1号 理事の候補者の選出について(決議事項) 議案第2号 平成26年度事業報告及び決算について(承認事項) 報告第1号 平成26年度基本財産等の運用状況について 報告第2号 平成26年度理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況について
20	H27.5.29	代表理事(専務理事)の選定について
21	H27.8.31	監事選任について
22	H27.11.17	議案第3号 特定個人情報保護規則について(決議事項) 議案第4号 個人情報保護規則について(決議事項) 議案第5号 情報セキュリティ基本規則について(決議事項) 議案第6号 財産運用規則の一部改正について(決議事項) 議案第7号 財産運用取扱規程の一部改正について(決議事項) 議案第8号 平成27年度収支予算(損益)の補正について(承認事項) 報告第3号 基本財産の買い替えについて 報告第4号 平成27年度理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況について 報告第5号 平成27年度事業の執行状況について
23	H28.3.24	議案第9号 元城庁舎西棟からの事務所移転費用準備資金取扱規程について(決議事項) 議案第10号 減価償却引当資産取扱規程について(決議事項) 議案第11号 旅費規則の一部改正について(決議事項) 議案第12号 評議員の候補者の選出について(決議事項) 議案第13号 理事の候補者の選出について(決議事項) 議案第14号 第10回臨時評議員会の決議の省略の方法について(決議事項) 議案第15号 第11回定時評議員会の招集について(決議事項) 議案第16号 平成27年度収支予算(損益)の補正について(承認事項) 議案第17号 平成28年度事業計画及び収支予算(損益)について(承認事項)
24	H28.3.28	給与規則及び組織規則の一部改正について

2 監事会

回	年月日	内 容
1	H 2 7 . 5 . 8	会計・業務監査

3 評議員会

回	年月日	内 容
7	H 2 7 . 4 . 1 7	監事の選任について
8	H 2 7 . 5 . 2 9	議案第1号 理事の選任について（決議事項） 議案第2号 平成26年度事業報告及び決算について（承認事項） 報告第1号 平成26年度基本財産等の運用状況について 報告第2号 平成27年度事業計画及び収支予算（損益）について 報告第3号 基本財産の運用方針について
9	H 2 7 . 9 . 1 8	監事の選任について

《 附属明細書 》

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。